

中耳炎はおおむね、急激な耳痛で始まる急性中耳炎、耳の閉塞感、難聴が続く滲出性中耳炎、慢性中耳炎とに分れます。今回は慢性中耳炎に絞って説明したいと思います。

病態

慢性中耳炎には二つのタイプがあります。一つは急性中耳炎や滲出性中耳炎を繰り返しているうちに、鼓膜穿孔（鼓膜に穴があいた状態）が自己修復できず残ってしまい、感染を繰り返す慢性化膿性中耳炎と言われるものです。

もう一つは、真珠腫性中耳炎（中耳真珠腫ともいわれる）というものです。なんらかの原因で、鼓膜の上皮細胞が中耳内に入り込み腫瘍状に増殖してしまい（先天的なものもあります）、炎症を起こすと増大して中耳内の構造を壊していきます。外見が白みがかった真珠色をしているため真珠腫と言われています。

症状

主な症状としては、耳漏の反復と、難聴があげられます。慢性中耳炎は炎症を起こし耳漏がでて、急性中耳炎のような痛みを伴うこ

とが少ないので、症状があっても放置されることが結構あります。そのため、知らぬ間に進行し合併症を起こしてしまうことが、慢性中耳炎の大きな問題です。とくに真珠腫性中耳炎は、増大すると周囲の骨組織を壊して進展するため、中耳より深部の聴覚、平衡感覚の神経組織、顔面神経、さらには頭蓋内にも影響を及ぼすこともあります。慢性中耳炎を放置しておく、と、まれに髄膜炎、脳膿瘍、海面静脈洞炎など、後遺症を残したり、最悪の場合致命的にもなる合併症を起こすこともある怖い病気といえます。

治療

感染を起こしている急性増悪期には、抗生物質の服用や、耳漏に対する局所処置など保存的治療が行われます。しかし、慢性中耳炎の根本的解決には手術療法が必要となります。

特に真珠腫性中耳炎では、真珠腫の増大により手術の難度が上がリ、進行すると耳の構造や機能に障害を残すことになります。そのため真珠腫性中耳炎のほとんどで早期の手術療法が必要となります。手術で真珠腫を完全に除去できな

いと再発の危険がありますので、段階的手術を行うこともあります。段階的手術とは、初回の手術では真珠腫の摘出に主眼を置き、二度目の手術で再発のないことを確認したうえで聴力再建の手術を行う方法です。複雑な構造の中耳の中に広がった真珠腫を完全に取り除くことは非常に困難なため、このような安全策がとられるのです。

慢性化膿性中耳炎では、炎症を起こす頻度が少なく急性増悪時に適切な治療を受けられるのであれば、病状の進行が抑えられるので、患者さんの希望や事情により通院で経過を見ていくことも可能です。やはり根本的治療として手術的に鼓膜の穿孔を閉鎖したほうが、将来性を考えれば良いと思います。手術の方法も、穿孔の大きさ、中耳内の病変の程度によって、日帰り手術のできる軽症例から、入院して全身麻酔下にしつかりと鼓室（中耳）形成が必要な場合もあります。

慢性中耳炎の治療に関しては、専門医とよく相談し、適切な治療法を選択することが、患者さんの将来性を考えると、とても大切なことと言えます。



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10:00～午後4:00

月日		場所	診 療 所 名	科 目	☎ (048)	場所	診 療 所 名	科 目	☎ (048)
5	2	朝霞	北朝霞・朝霞台えきまえ エスエスこどもクリニック	小	476-3002	和光	新倉診療所	内・外	467-1155
	3	新座	志木南口クリニック	内・外・小・消 整・肛・リハ	485-6788	志木	宇野眼科医院	眼	472-6202
	4	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整 消・肛・リハ	460-3466	和光	和光耳鼻咽喉科医院	耳・アレ	467-0889
	5	新座	たきやま小児クリニック	小・アレ	477-8620	朝霞	村山クリニック	内・循	471-1636
	9	新座	片山診療所	小・皮・内	481-0260	朝霞	根本整形外科	整	467-4154
	16	和光	村山皮膚科クリニック	皮・アレ・小	464-5333	新座	庄林医院	内・外・胃	477-3357
	23	朝霞	鈴木内科	内・小	473-6611	新座	牧田産婦人科医院	産婦	478-1151
	30	新座	新座中央通り診療所	内・小	473-3331	朝霞	栗原整形外科	外・整・皮・内 リウ	463-2325